

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

高知県高知県・高知市病院企業団 高知医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	40	対象	透し未訓方	救急が感へ災地輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	75,965	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

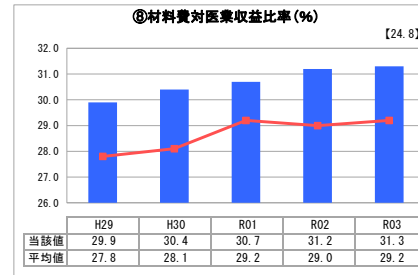
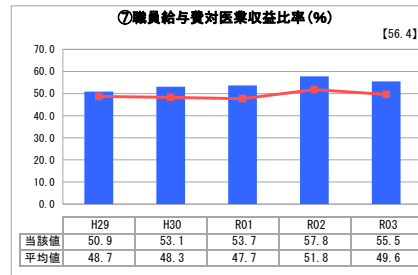
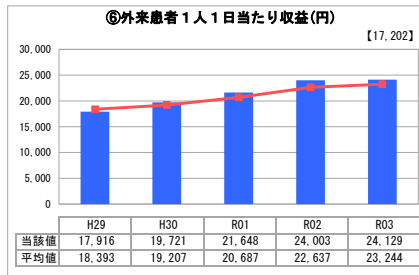
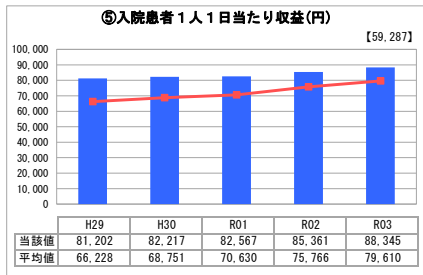
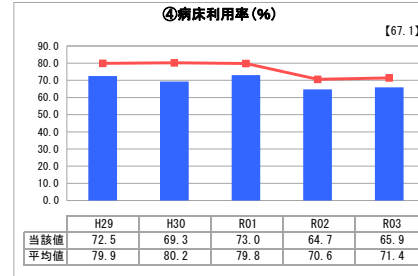
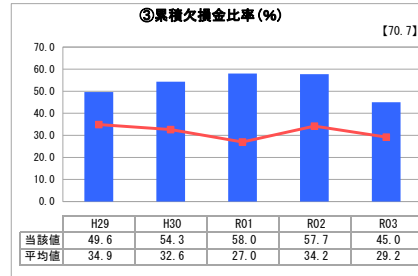
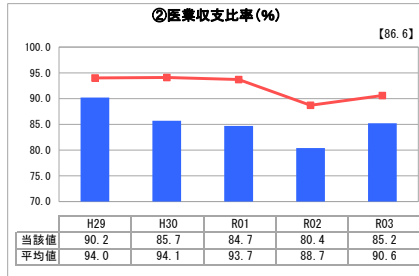
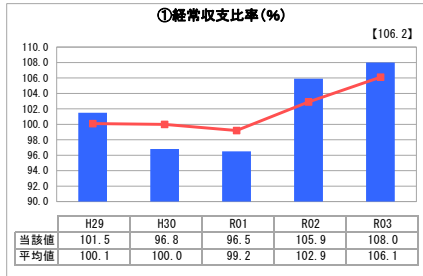
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(総核)
548	-	20
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
44	8	620
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
495	-	495

グラフ凡例

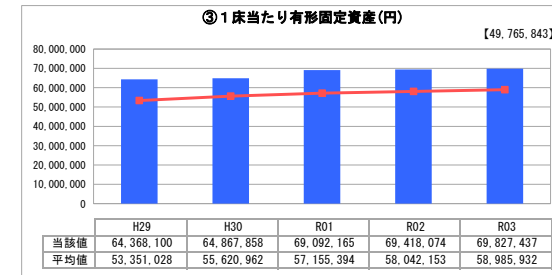
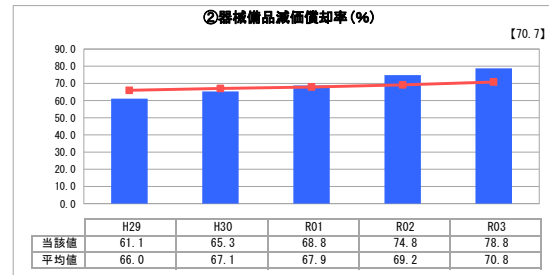
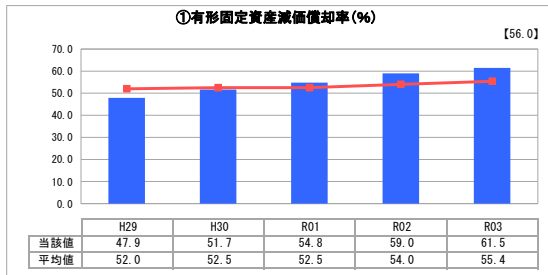
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

異種・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

当院は、県立中央病院と市立市民病院を統合し、総合かつ高度な診療機能を有する新たな基幹病院として設立されており、高度急性期医療を県民に提供する役割を担っている。  
また、自治体病院として、3次救急医療、周産期母子医療、がん医療やへき地医療など、政策医療あるいは不採算医療の提供も担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①入院診療単価の増加、外来患者数の増加、新型コロナウイルス感染症にかかる補助金等により経常収支は改善した。  
②新型コロナウイルス感染症に伴う病床制限等は継続しているものの入院単価が増加した。また、前年度受診控えにより減少した外来患者数が一定回復したため医療収益が増加した。  
③病床制限が継続しており、前年度に続き低い利用率となっている。  
④限られた病床数でより多くの重症患者に必要な治療を行うため入院日数の短縮に取り組み、また下期には重症療養の再編を実施したことにより単価が増加した。  
⑤給与費は前年度から増加しているが、それ以上に医療収益が増加しているため、比率は減少した。  
⑥材料費は前年度から増加しているが、それ以上に医療収益が増加しているため、比率は維持した。

### 2. 老朽化の状況について

①開院から17年が経過し、施設の老朽化が進行している。経営状況を勘案しつつ、施設の長寿命化計画に沿った計画的な維持修繕に努める。  
②器械備品についても徐々に老朽化が進んでいるため、計画的な更新に努める。

### 全体総括

患者数の回復、入院診療単価の増加、新型コロナウイルス感染症に係る補助金等により経常収支は前年度に引き続き黒字となった。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。